

- 理論でのTP例はすべて「図1」「図2」の表現を用いている。教科等での活用例では、「TP1」、「TP2」などの表現も用いている。
- 合成分解法は数枚のTPで構成されることが多い。その場合は「TP1-1」「TP1-2」のように表現している。
- また、上記合成分解法等で複数のTPを重ねて作り出される映像には「映像1」「映像2」「完成TP」などの表現を用いている。

4. 参考図書の活用のすすめ

この手びき書は頁数の関係もあり、初歩的な説明にとどまり説明不足のところも多いと思われる。それらを補うことから、また、さらに高度の技術を身につけ、授業への位置づけを深く研究したいという先生方のためにも、この手びき書を作成するにあたって引用した図書、参考にした図書、さらに参考になるとと思われる図書を「OHP関係図書目録」として巻末に載せた。